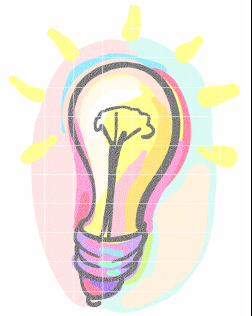


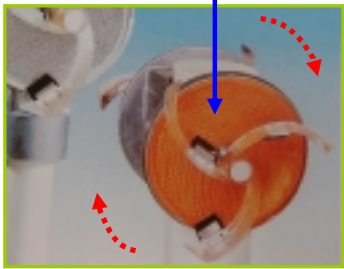
道路などで見かけるオレンジや白の視線誘導表には、いろいろな仕組みがあるのをごぞんじですか??



視線誘導は反射板となっており、特に日没～夜間や、霧などで視界が不良の時に車のライトなどに反射して、道路の通行位置や幅をドライバーや歩行者につたえる役割をしています。

また、視線誘導はいろいろな場所で使われており、ガードレールに付いているものや、法面(壁)や区画線、縁石など、特に見通しが悪い所、カーブのきつい所や、事故多発場所などに多く設置されています。

回転する時にこのブラシで表面を拭いてくれます



このポールは防塵デリニーターといい、反射器の前面に風車式払拭装置を取り付け、反射器の視認性をさまたげることなく反射器に付着する塵埃(ゴミ、ほこり)を車が通行するときに起こる風で払いのぞき、反射面の機能を長時間維持することができますようになっていきます。



反射板に太陽電池を利用した自発光装置がついているソーラータイプの視線誘導もここ最近多く設置しています。この構造は昼間の充電で夜間光り続け、ドライバーに注意をうながす自発光反射板です。

● 2003年 ●

無事故安全祈願

2003年の工事の**安全無事故**を願い、呉国道出張所職員と各工事関係者20名ほどが広両谷の船津神社で安全祈願を行いました。

余寒なおきびしい時ですが、呉国道出張所緑地には春を告げる白梅が見頃となっています。

1月11日生花
花言葉：気品

平成14年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品

学生の部 **佳作**

「人と人、今と未来をつなぐ道」
岐阜県岐阜市 塚原 直さん(12歳)

「この道路なくちゃならない友達」
広島県広島市 山田 佳奈さん(11歳)